



## Pick-Up 1

### 独自イベントで一関の食と観光をPR 東京・神田で「もちのせき一関 ファンづくりのタベ」

市の食と観光情報を発信する特別イベント「もちのせき一関 ファンづくりのタベ」は2月22日、東京・神田のアンテナショップ・レストラン「全国うまいもの交流サロン・なみへい」で行われ、一関に関心のある42人が一関の味に舌鼓を打ちました。



2月の地域料理特集メニューは、一関産の生しいたけ、曲りねぎ、いわいどり、南部一郎かぼちゃや米めんなど、一関産の食材をふんだんに使った料理が並びました。このほか、一関が誇るもち料

理や地酒を振る舞って、出席者を楽しませました。

会場では狛鼻溪の女性船頭の千葉美幸さんが唄を披露して名勝を紹介。参加者は、一関の食と観光の魅力に浸っていました。

参加者のアンケート回答には「東京で一関の食材を食べられるめったにない機会」、「おいしかったです。これからも続けてほしいです」など、今後に期待する声がたくさん届いています。

店内アンテナショップコーナーでの物産展示販売は3月まで。首都圏で一関ファン獲得に期待が寄せられています。

地産外商の一環で行ってきた各地のPRイベントは、広がりを見せています。

1\_店内では焼きしいたけを振る舞い、しいたけ産地一関をPR/2\_なみへい店主の川野真理子さんが料理で好評の「いわいの米めん」を紹介/3\_前菜の5点盛りからコース料理がスタート/4\_一関の食を味わい満腹のイベント参加者たち/5\_アンテナショップコーナー。2月は山形県米沢市と共同出店した



## Pick-Up 2

### 無病息災、大願成就、冷水あびて熱く疾走 一関市・大東大原水かけ祭り

冬の風物詩「一関市・大東大原水かけ祭り」(同保存会主催)は2月11日、大東町大原の商店街で開かれた。

1657(明暦3)年の江戸の大火を機に始まった祭りは、時代を超えて受け継がれ、今年で356年。地元をはじめ県内外から集まった298人の裸男たちが、火防や厄除けを願い、清めの水を浴びて疾走した。

快晴の空の下、朝から仮装手踊り、八幡神社に奉納する大しめ縄奉納修祓式と行進、太鼓山車やみこし行進など伝統行事がにぎやかに繰り広げられた。また、太鼓や鹿踊りの勇壮な演舞などが「天下の奇祭」を盛り上げた。

八幡神社で祈禱を済ませ、出発地点に集合

した白木綿の腹巻きにわらじ姿の裸男たちは午後3時、花火と「旗切り」と呼ばれる出発の合図で一斉にスタート。目抜き通りを駆け抜けた。沿道で待ち構える住民は、バケツやたらいの「清め水」を力いっぱい浴びせ、祭りは最高潮に。

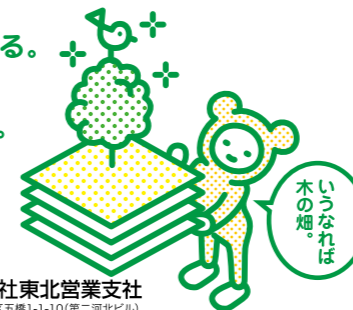
初めて参加した岩手県職員の五月女有吉さん(31)は「すごい熱気だし、人肌の温かさが感じられた。走る人、水をかける人、見る人の垣根がない一体感ある素晴らしい祭り。伝統を守り続ける理由が分かる。ぜひ続けてほしい」と驚いていた。

祭りの運営に協力した県立大東高校の小野寺和大君(2年)は、「夢中になって水をかけた。将来はぜひ仲間と走りたい」と話していた。

自分たちで木を育てる。  
育てた分だけ使う。  
自給自足の紙づくり。



日本製紙株式会社東北営業支社  
〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-10(第二河北ビル)  
TEL.022-262-3911(代)



ホームページ作成・各種データ加工  
クリアファイル・自費出版

国際環境規格ISO14001認証  
プライバシーマーク認証



**トーバン印刷株式会社**

一関営業所 一関市三関字日照107-5 TEL 0191-31-8808 FAX 23-7315  
本社・工場 一関市千厩町神ノ田30-9 TEL 0191-52-2445 FAX 52-4230  
URL <http://www.makasete.jp> E-mail [mail@makasete.jp](mailto:mail@makasete.jp)